

教育課程論

教職課程科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 住岡 敏弘

■使用テキスト 『高等学校学習指導要領解説 総則編』 東山書房

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

教育課程は学校の教育計画ともいわれます。生徒が学習することの意味や喜びを実感しながら学習に意欲的に取り組み、確かな学力や豊かな人間性等をはぐくむことができるかは、質の高い教育課程の編成とその実施にかかっています。

本通信学習では、質の高い教育活動が常に展開されるようにするには各学校において教育課程をどんな理念や考え方で編成、実施、評価すればよいかを、テキスト「高等学校学習指導要領解説 総則編」の第1章から第4章に示す事柄をもとに学習します。学習に当たっては、各章等に示すポイントを参考にしてください。

到達目標

- (1) 今次の教育課程の改訂の経緯・改訂の基本方針・改訂の要点について理解し、説明できる。
- (2) 教育課程の意義について理解し、説明できる。
- (3) 教育課程に関する法制について理解し、説明できる。
- (4) 教育課程編成の一般方針について理解し、説明できる。
- (5) 各教科・科目、総合的な学習の時間及び特別活動の授業時数等について理解し、説明できる。
- (6) 教育課程の編成・実施に当たって配慮すべき事項について理解し、説明できる。
- (7) 教育課程の編成の手順と評価について理解し、説明できる。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 総説

この章のポイント

平成18年12月、約60年ぶりに教育基本法が改正されましたが、それを受けて学習指導要領が改訂され、高等学校では平成25年4月から学年進行で施行されることになりました。この章は、現行学習指導要領が改訂された経緯、改訂に当たった基本方針、改訂の要点等が記述されています。改訂の経緯、基本方針、改訂の要点等を通して新学習指導要領の特徴をとらえましょう。

第1節 改訂の経緯

この節のポイント

現行学習指導要領が、どのような背景の中でどのような考え方に基づいて改訂されたかを中央教育審議会答申(平成20年1月)をもとにしてとらえましょう。

第2節 改訂の基本方針

この節のポイント

学習指導要領改訂の基本的なねらいである三つの方針について、その方針と内容をとらえましょう。

第3節 改訂の要点

この節のポイント

学校教育法施行規則の改正及び総則の改訂の要点が記述してあります。総則は学習指導要領の基本的な考え方を示す重要なものです。改訂の要点は何か次の項目についてとらえましょう。

- 1 学校教育法施行規則の改正の要点
- 2 「総則」の改訂の要点
 - ・教育課程編成の一般方針（第1款）のア、イ、ウ
 - ・各教科・科目及び単位数（第2款）のア、イ、ウ
 - ・各教科・科目の履修等（第3款）のア、イ
 - ・各教科・科目、特別活動及び総合的な学習の時間の授業時数等（第4款）
 - ・教育課程の編成・実施に当たって配慮すべき事項（第5款）の特にウ
 - ・単位の修得及び卒業の認定（第6款）

第2章 教育課程の基準

この章のポイント

この章では、教育課程の基準について学習します。教育課程の意義、教育課程に関する法制についてとらえましょう。

第1節 教育課程の意義

この節のポイント

教育課程とは何かということを念頭におきながら、教育課程が学校の教育計画と言われるわけと教育課程編成の基本的な要素についてとらえましょう。

第2節 教育課程に関する法制

この節のポイント

教育課程の基準とそれに基づく教育課程の編成の在り方についてとらえましょう。また、教育課程は法令に基づいて編成されることを関係法令とその内容についてとらえましょう。

- ・教育課程とその基準
- ・教育課程に関する法令

第3章 教育課程の編成及び実施

この章のポイント

この章は、学習指導要領の総則について述べています。総則は、教育課程の編成・実施について各教科・科目等にわたる通則的な事項について示しているもので、各学校はこの総則に示されている事項に従い創意工夫を生かして教育課程を編成・実施することになります。そのため、この章に示す事柄は教育課程の編成に当たって重要なものとなります。

各節の学習に当たっては、第1章第3節の改訂の要点と関連づけて考察するとよいでしょう。

第1節 教育課程の編成の一般方針

この節のポイント

教育課程編成の基本的な原則を示すとともに、教育課程編成に関し特に配慮すべき事項、学校教育を進めるに当たっての基本理念について、次の4項目について述べています。この4項目は、教育課程の教育課程編成に当たって欠くことのできない重要な部分です。記述の「〇〇するものとする」、「〇〇なければならない」等に注目して、記述内容や言わんとすることをそれぞれの解説をもとに具体的な教育活動をイメージしながらとらえましょう。

- 教育課程編成の原則
 - ・教育課程の編成の主体
 - ・教育課程の編成の原則一ア、イ、ウ、エ、オ
 - ・生きる力をはぐくむ各学校の特色ある教育活動の展開
- 道徳教育

- ・高等学校における道徳教育一ア、イ、ウ
 - ・道徳教育の目標一ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ
 - ・道徳教育を進めるに当たっての配慮事項
- 体育・健康に関する指導
- 就業やボランティアにかかわる体験的な学習の指導

第2節 各教科・科目及び単位数等

この節のポイント

1の卒業までに履修させる単位数等についてとらえましょう。

第3節 各教科・科目の履修等

この説のポイント

1の必修修教科・科目等についてとらえましょう。

第4節 各教科・科目、総合的な学習の時間及び特別活動の授業時数等

この節のポイント

教育課程の編成に当たって、各教科・科目、総合的な学習の時間、特別活動等を明確にしておかなければなりません。次のことについてとらえておきましょう。

- ・年間授業週数
- ・週当たり授業時数
- ・ホームルーム活動の授業時数
- ・生徒会活動及び学校行事の授業時数
- ・授業の1単位時間の運用
- ・年間授業日数

第5節 教育課程の編成・実施に当たって配慮すべき事項

この節のポイント

教育課程の編成・実施に当たって、どのようなことに配慮すべきかを述べています。1～4については確認程度で、5の「教育課程の実施等に当たって配慮すべき事項」については(1)から(14)までの項目とそれぞれについての解説をもとに、各配慮事項がなぜ重要なのか等を考えながらとらえましょう。

第6節 単位の修得及び卒業の認定

この節のポイント

単位の修得の認定、卒業までに修得させる単位数、各学年の課程の終了の認定、学校外における学修等の単位認定についてとらえておきましょう。

第4章 教育課程編成の手順と評価

この章のポイント

各学校は、学校の教育目標を達成するために教育課程を編成し実施しますが、その際、教育課程に基づく教育活動等が成果をあげているかなどについて適切に評価をすることが必要です。評価については、第1節及び第2節をもとにとらえましょう。

第1節 教育課程編成の手順

この節のポイント

教育課程とは何であったか、どのような基本的な考え方のもとで、誰によって編成されるのかなどについてとらえましょう。また、教育課程編成に当たって取り組まなければならない事柄についてとらえましょう。

- ・教育課程の編成の手順
- ・学校の教育目標の評価

第2節 教育課程の評価

この節のポイント

教育課程を評価する場合、どのような観点に立ってどのように評価すればよいのか、評価の観点や方法についてとらえましょう。また、教育課程の改善について、その改善の意義と改善のあり方についてとらえましょう。

- ・学校評価における教育課程の評価
- ・教育課程の改善